

財務部 財政講演会「財政健全化への道筋」

8月8日、財務省から中山主計官(国土交通、公共事業総括係担当)を講師に招いて、財務部と沖縄商工会議所の共催による財政講演会を同会議所において開催し、県内の行政機関及び経済界など多数の方々にご参加いただきました。

講演会では、「財政健全化への道筋」を演題として、我が国の厳しい財政状況や、直面する少子高齢化の進捗と社会保障費の増加を踏まえた政府全体としての取組状況のほか、我が国の財政健全化目標、海外の財政事情、平成28年度予算の特徴など多岐にわたるトピックスについて、予算編成に直接携わる主計官としての経

験も踏まえた説明が行われました。

参加者からは、「財政健全化に向けた施策や主要スケジュールの流れが理解できた。」「社会保障制度の改革についてニュースや新聞で目にしていて情報を分かりやすく説明していただき、消費増税の重要性を確認することができた。」など、有意義であったとする意見が多数寄せられました。

今後も財務部では、我が国の財政状況や財政健全化に向けた政府の対応状況などについて、地域の皆様に、より一層ご理解を深めていただけるよう取り組みを進めてまいります。



財務部 金融トラブルにご注意を！

財務部金融監督課は、8月から9月の間において、うるま市社会福祉協議会、名護市大東区及び竹富町社会福祉協議会からの要望を受け、「金融トラブルに巻き込まれないために!!」の講座を3回行いました。具体的には、特殊詐欺の事例を寸劇で再現した後、特殊詐欺の被害に遭わないためには、「不安に陥れるような電話を受けたら、一人で悩まずにすぐに相談する」、「焦ってお金を払わない」ことが大切であることを説明しました。

受講者からは、「詐欺の手口が良く分かった」、「講座内容は役に立つ」などの意見が寄せられました。

当課は、今後も、様々な職場・団体などからの要望に応じて、積極的に講師派遣に取り組み、金融広報と地域連携に努めてまいります。



寸劇の様子



講話の様子

財務部 金融庁業務説明会

財務部では、10月11日、那覇市職員厚生会館において、「金融庁業務説明会」を開催しました。

本説明会では、地元の企業経営者の皆様、経済団体役員の皆様、企業の経営支援を担っておられる皆様、地方自治体の皆様方に対し、金融庁の三井秀範検査局長から、「地域金融における課題とこれまでの取組み」、「地域金融行政における今後の取組み」などについて説明しました。

また、金融仲介機能のベンチマーク(金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標)や当局が実施した企業ヒアリング・アンケートの調査結果などについても説明しました。



説明会の様子



農林 水産部

さとうきびのパネル展

～沖縄の宝 さとうきびの品種と砂糖の製造工程～

パネル展の様子



さとうきびは、台風や干ばつなどの気象災害に強く、昔から沖縄の人々の生活を支えてきた重要な基幹作物であり、特に離島においては製糖業と併せて地域経済の主要産業となっています。

農林水産部では、これまで沖縄の人々の生活を支えてきたさとうきびを改めて多くの方々に知っていただくことを目的に、当局1階行政情報プラザにおいて、9月13日から16日までの4日間、「沖縄の宝 さとうきびの品種と砂糖の製造工程」と題したパネル展を開催し、パネルによる各品種などの説明やさとうきびのポット栽培による実物展示、各種砂糖のサンプル展示などを行いました。

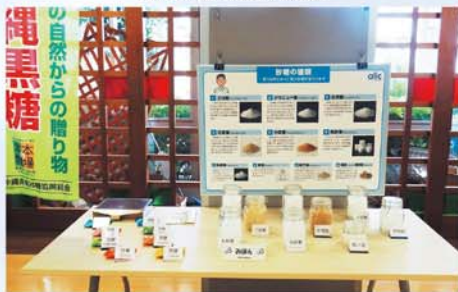
来場者数は4日間で約150名を数え、多くの方々に御覧いただきました。

来場者からは、「本物のさとうきびを見ることができて良かった。」「製糖工場のDVDがとても分かりやすかった。」などの感想が多く寄せられました。

当イベントを契機として、消費者のさとうきびへの理解が深まることを期待しています。



沖縄県奨励品種の紹介



砂糖の種類の紹介

農林 水産部

地域資源保全女子プロジェクト 意見交換会

意見交換会の模様



沖縄総合事務局では、平成26年度から実施している多面的機能支払交付金によって、農業者や地域住民、都市住民など多様な主体の参画による水路や農道などの地域資源の保全活動を支援しています。

これらの活動において、女性の活躍の機運を高め、女性が活躍できる方策などについて考えるため、地域で保全活動に取り組む女性(12名)が集まり、8月29日に意見交換会を行いました。

意見交換会では、全国各地で地域活性化の支援に取り組む地域活性化プロデューサーの志村和浩氏を講師に招き、「地域活動の広報戦略ワークショップ」と題して地域広報のあり方や効果的な広報の方法などについてお話いただきました。また、ワークショップでは、参加者が二人一組となり、お互いの活動内容を紹介する他己紹介を実践しながら広報のポイントについて、講師からアドバイスをいただきました。

後半の意見交換会では、女性の地域資源保全活動への参加について問題提起され、出席者からは、「子供たちを巻き込んだ活動を行うことで、お母さん方の参加が増える」、「草刈りなどの力仕事は女性に向いていないが、作業時のまかない作りや植栽活動など女性が活躍しやすい取組から増やしていくとよい」、「農業農村は、男性社会で形成されてきたが、女性が活躍できる取組を増やし、皆が協力して活動できる体制を整えたい」など、活発な意見交換が行われました。

※「農村ふるさと保全通信(メールマガジン)」:多面的機能支払の活動組織の紹介や地域資源保全の新技术などの情報を配信しています。配信を希望される方は、農林水産省の新規配信登録の入力フォームから御登録ください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/ssl.html>

運輸部

平成28年度 船員労働安全衛生月間

～ 持ち越さず その都度改善 危険箇所 ～

大会風景

本年度も船員災害の減少と船内における安全で快適な作業環境、居住環境の実現を目指して9月1日～30日の1ヶ月間を船員労働安全衛生月間とし、『持ち越さず その都度改善 危険箇所』をスローガンに月間中、船員災害防止大会を初めとする各種の行事を展開しました。

月間初日の9月1日に、那覇第2地方合同庁舎において第43回沖縄船員災害防止大会を開催し、安全衛生月間がスタートしました。

本大会には約60名の船員、海事関係者が参加し、家族も一体となって船員災害・疾病の減少目標の達成を目指すことを誓った大会宣言がなされました。その後、「Dr.久高のマンマ家クリニック」の久高医師による「人生は出会いがプロデュースする」という演題で、時折ジョークを交えながらの講演が行われました。

このほか、会場には作業用救命衣や救命浮環などの、船員の保護具の展示場も設けられ、年々高機能になっていく保護具に参加者の関心が集まりました。

また、船員は長期間に渡り特殊な環境で働くため、船

内の安全、衛生環境が重要となります。月間中は訪船指導員が県内各港に停泊中の船舶を訪れ、安全面として海中転落事故の防止措置や床面などの転倒防止のための安全措置、衛生面として飲料水の管理状況や医薬品などの備付け状況などの点検指導を行いました。



各港における周知活動

お知らせ
information

下請取引適正化推進講習会の御案内

日時：平成28年11月21日(月) 13:30～16:30

場所：那覇第2地方合同庁舎(1号館2階大会議室)

総務部公正取引室と経済産業部中小企業課では、下請代金支払遅延等防止法(下請法)の迅速かつ効果的な運用、違反行為の未然防止等を通じ、下請取引の適正化を図っています。

特に、毎年11月には「下請取引適正化推進月間」として、普及・啓発に係る取組を集中的に行っています。

この一環として、11月21日(月)に那覇第2地方合同庁舎(住所：那覇市おもろまち2-1-1)において「下請取引適正化推進講習会(定員：100名)」を開催します。

講習会では、企業の発注業務担当者等を対象に下請法の説明や関連施策の紹介を行います。

申込方法などの詳細につきましては、
以下のホームページを御参照ください。

<http://www.ogb.go.jp/keisan/3353/015222.html>

下請けの
確かな技術に
見合った対価

11月は下請取引適正化推進月間です



昨年度の講習会の様子

お問い合わせ先
内閣府沖縄総合事務局経済産業部中小企業課
担当者：平良、知念
電話：098-866-1755 FAX：098-860-3710